

令和元年第 1 回

湯梨浜町総合教育会議

会 議 録

令和元年度第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

日 時 令和元年10月25日(金) 午後3時15分 開 会
場 所 湯梨浜町役場 第3会議室
出席者 町長、教育長、青木委員、市橋委員、松田委員、藏本委員
説明の為出席した者 教育総務課長、生涯学習・人権推進課長、学校給食センター所長、中央
公民館長、図書館長、教育総務課長補佐2名、指導主事2名

1. 開 会

2. 町長挨拶

3. 会議録署名委員の指名

() ()

4. 議 題

①ICT環境整備について 【教育総務課】

②就学援助制度について 【教育総務課】

5. 意見交換

①家庭教育充実に向けた湯梨浜町教育の推進に向けた取り組みについて
【生涯学習・人権推進課】

②地区（進出）学習会の現状について 【生涯学習・人権推進課】

③泊分館のあり方について 【生涯学習・人権推進課】

6. その他

7. 閉 会

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
教総課長	令和元年度第1回湯梨浜町総合教育会議を開会します。本日は議題2件、意見交換3件についてご協議をお願いいたします。それでは町長からご挨拶をお願いします。
町長	本日は、貴重なお時間を賜りましてありがとうございます。本会議は町長が主催するとなっておりますが、実際のところ、教育委員会からその思いを聞いて、委員の皆さんと一緒にご意見を賜りながら方針を共有化していこう、といった形で進めればと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。
教総課長	会議録署名委員ですが、藏本委員と市橋委員をお願いします。それでは、今後は町長の方で進めていただきたいと思います。
町長	それでは早速ですが、ICT環境整備について説明をお願いします。
尾崎補佐 岩本指導主事	ICT環境整備について説明。
町長	文科省の重点的な施策に位置付けられているということでした。それと同時に自治体にとっては負担が増えることも否定できませんので、なかなか大変だなという気がしています。その一方でデジタル教科書ですとか、使う側の教育も必要だとの提案もありました。基本的には、湯梨浜の子どもたちが、文科省の条件に満たない環境を作ってはいけないと思いますが、委員の皆さんのご意見はいかがでしょうか。
市橋委員	デジタル教科書で3つの提案がありましたが、次年度は実際にどの案で向かいたいのでしょうか。
教総課長	未定です。教育委員会としてはデジタル教科書を整備したいのですが、大前提として、一部の先生だけでなく、すべての先生が使ってもらいたいと思っていますので、まずは学校間で話し合ってください、小学校であれば3校ですり合わせもしていただき、ご意見をくださいといった段階です。
市橋委員	それは一度にすべての教科を整備されるのでしょうか。順次整備していくといった案もあるのではないのでしょうか。
教総課長	教科書は4年に1回変更があるものですから、例えば、今年は算数、次は国語としていくと、4年目に導入したものは1年しか使えないということになりますので、導入するのであれば初年度にすべて整備する方向でと考えています。
町長	生徒が持つもの、教師が指導内容を含めたもの、というところは分かりますが、指導者用デジタル教科書とはどういうものですか。
岩本指導主事	教科書と同じ内容のものが入っていますが、子どもが注目した部分にタッチペンで書き込めたり、今までだと教員がネットや本で調べた参考となる

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	資料などが、初めから盛り込まれています。
教総課長	例えば、湯梨浜町の地図があつて、ある部分を拡大したいときはタッチするだけで大きくしたり、複数ページを並行してみたいときは分割表示させたり、理科の場合だと、植物の輪切りを見たいときはデータが入っていますので、先生がタッチするだけで表示させたり、体の仕組みの勉強をさせたいときは、食道から胃と、それでは胃はどういった構造になっているかといったときタッチすれば胃の部分が拡大できたり、動物関係であれば鳴き声を流したりといったような活用ができます。
町長	指導要領以上に、具体的な事例とかが入っていて、さっきのように詳しいことが知りたいといったときに、拡大して出せるといったことですか。
教総課長	そうです。
町長	含まれている教材の中身を先生が確認するのも大変ですね。
教総課長	今までは、先生がそういったものを見せようとすれば、あらかじめ準備してプリントアウトして貼っていましたが、それがタッチ一つで表示させることができます。
町長	それは、どのくらいの量がありますか。
岩本指導主事	そんなにたくさんは入っていません。
教育長	写真やデータ、分かりやすい絵のほか、例えばコンパスですと、最初はどうしても中心が動いてしまうので、どうやって書けばいいのかの動画を見せながら指導することができます。
市橋委員	以前はパソコン教室ができて1人1台といったことでもびっくりでしたが、今後、こういうようなことを来年度もやっていかなければならないので、なおさら驚いているとともに、計画訪問のとき、理科や算数で使っているのを見たとき、これはすごいなと思いました。こういうものが、次年度から取り入れられるとなれば、教育効果というか、理解をするのにも随分よくなるだろうなと思います。しかし、ICTが入ったから大丈夫とか、先生が楽になるとか、子どもたちにも理解しやすくなっていいとかもあるのですが、子どもと先生の関係など、人間関係のことも忘れないで、ICTを幅広く有効に使っていただければと思います。
松田委員	病院も電子カルテに切り替わったのですが、その際、たくさんの看護師さんが辞められましたので、使われる先生方のサポート面を充実しておかないと、退職者が増えないか心配です。新しいことを取り入れるはいいですが、先生の負担を軽減するどころか、逆に負担をかけてしまうのかなと思います。
町長	まだ教育委員会もよく分からないと思いますが、どの程度のレベルを得て

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	もらうのを目標としていますか。
教総課長	まずは年度初めと終わりは人事異動がありますので、パソコン自体を設定する必要がありますので、これはトップクラスのサポートが必要です。また、学校の担当の先生もレベルがかなり違ってしまっていて、長けた人であればある程度はできたとしても、異動者が多いと非常に時間がかかって大変です。ましてや、あまり詳しくない人にとっては、もっと大変です。一般的な支援員であれば、中間的なレベルの方で十分かと思います。
教育長	教員は、授業で使ってもらえるレベル程度は、身につけてもらう必要があります。
町長	低学年から使うようにするのですか。
教育長	今後、学校と相談しながら、効果的だと思われるところには使っていくことになるかと思いますが、文字などはパソコンですと忘れてしまうこともありますので、バランスを取りながら使用することになります。
藏本委員	ICTの導入は、子どもたちの理解の促進につながるでしょうが、授業についていけない子への影響はどうでしょうか。ますます学力の二極化に拍車がかかっていくのか、緩やかになっていくのか、どのようにお考えですか。
岩本指導主事	映像が出ることによって、興味がなかったことへの関心意欲は高まっていくと思いますし、言葉だけでは理解しにくいのが、映像であれば理解できるといった子どもがたくさんいます。急に分かったということはないかもしれませんが、勉強が楽しくなってきた、ちょっと分かったとか、学習への効果はあるものと思います。
藏本委員	授業全体のスピードは上がりますよね。
岩本指導主事	1時限でやる内容は決まっています、次のところまでするということはありません。1コマの授業構成の中で、力をいれたいところなどに使おうと思います。
藏本委員	ただ、これまで先生が時間をかけて説明していたことが、パッと映像が出てくるわけですね。そのところにはスピードがありますよね。
岩本指導主事	子どもたちが話し合ったり、考えを広げたり、友達の意見を聞いて自分のものにしたりするといったことを大事にするようにとされています。そこで映像やタブレットなどを使って、より理解は深まれば良いなと思っています。
藏本委員	なかなか授業についていけないお子さんがおられ、支援員の方が一生懸命になっている姿を見ました。ICTも大事なことでどんどんとやってもらいたいのもありますが、こういった子へのフォローもしっかりとしていかなければならないと思います。

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
青木委員	文科省から単年度 1,805 億円の財政措置があるとのことですが、このお金で賄えるのですか。
教総課長	これはあくまでも地方交付税措置で、自治体の人口、規模、学校数によって算定されるもので、その中で特別に ICT は年間 1,805 億円をベースに計算するといったものです。直に現金がくるといったものではなく、国としてはこれで保証しているということです。
町長	国は、毎年、どの学校がどのくらい利用してといったことを把握して算出されるでしょうか。
教総課長	国は、基本的に小学校ですと 1 校 560 万くらい整備にかかるだろうといった試算をされています。
町長	あえてアナログの重要性といいますか、学習の過程の重要性もあると思います。私が小学校のときですが、教育テレビを見ていても、興奮したり喜んだりした記憶はありません。むしろ生の授業の方をよく聴いていたと思います。映像だと平面化といいますか、音楽でもなんでもそうでしょうか、かかっているに関心がなければ平気で聞き流せます。先ほど蔵本委員が言われたように、二極化の怖さもあり、ICT に馴染まず遅れてくる子はどうか、やはり家庭でも、ある程度反復できるようにしておかないと、ちょっと難しいのではないかと思います。
教総課長	今は、小学生でも、親の携帯をおもちゃがわりにして、パソコン、ゲームなどコンピュータ環境には慣れてきていると思います。それと今後、各科目にプログラミング教育が導入され、プログラムの仕組みを学ぶようになります。アナログの部分も必要ですが、これからの時代に沿った形でデジタル部分の導入も必要だと思います。
町長	以前、県の元教育長が、板書は大事だと仰っていました。子どもたちが字をちゃんと覚えていくうえで、黒板に書くことは、筆順や漢字のバランスなども含めて大事なことだと。小さい頃から筆順など意識するようにし、書くのを見たりして覚えられたら、という気はしています。
教育長	本物の良さというものもあります。例えば、小学校で芋虫が蝶々になっていくといった授業がありますが、コンピュータですと 3 分もあれば終わってしまいますが、子どもたちには印象に残らないのではないかと思います。やっぱり、自分たちで育てて世話をしながら蝶々になったと、その感動はいつまでたっても大事なことなんだろうなと思います。コンピュータで効率よくできることと、本物できちんと伝えていくことなど、今後の大きな研究テーマになると思います。どういうふうに ICT を使えば効果的なのか、ここは板書、ここは本物などと区別し、学校と一緒に協議しな

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	がら進めていきたいと思います。また、低位な子どもたちの中には、先生の言うことがなかなか理解できなくて悩んでいる子もいます。それが映像化されることで、そうだったのかと理解が進む子もいます。ICTは、あくまでもツールとして利用し、教員と子ども、子ども同士の人間関係は、いつの時代でも大切なことですので、不易な部分は大切に組み組んでいきたいと考えています。
町長	ICT支援員とサポート員は、両方とも委託でされますか。
尾崎補佐	そうです。
町長	そうすると1つの業者にさせることは可能ですね。
尾崎補佐	それが一番いいのですが、なかなか両方ともできる業者がいません。特にICT支援員は人材が少ない現状があります。
町長	ICT支援員の育成はどうするのですか。
尾崎補佐	ICT支援員にも資格が必要で、現段階では企業努力に頼るところですが、教職員同士で研修を深めていくよう考えています。
町長	今後の計画で支援員の育成とICTの導入計画のビジョンは作っていますか。
尾崎補佐	まだ課題のところがあります。
教総課長	ICT支援員のレベルもいろいろとあり、今回は専門的な方を1週間に1校半日程度確保したいということです。
青木委員	それではICT支援員の見通しの計画が立たないと進まないのではないですか。機械は導入しても、支援員がいなければ使えないのではないですか。
教総課長	大変ですが、今は、各校の情報の先生に指導していただくとか、研修をしていただくことしかありません。
尾崎補佐	教育センターからの出前講座もあり、研修を深めていただくようお願いしたいと思います。
青木委員	ますます先生方が忙しくなるのではないかと思います。子どもに向けてほしいのに、機械ばかりにならないようお願いしたいと思います。
教育長	県内でも対応できる業者もあると聞いていますので、そういう業者と相談しながら進めていきたいと思ひますし、教員同士でも研修を進め、両輪でやっていきたいと思ひます。
町長	教員のOBはどうですか。
教総課長	おられるようですが、少ないですね。
町長	いろいろと課題があることが分かりました。この前、自民党の文教族の方とお話をした際、タブレットなど小学校の低学年にもというのはどうなの

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	<p>かなと、もっと他に教えることがあるのではないかという思いがあります。町村会でも、ICTを導入してどのくらいキチっとできるのかといった意見も出ていて、以前も交付金を使って整備したこともありましたが、それが十分に使われているようには見えないと。どうやって効果的に使えるような人材を育成していくかは大切な問題で、もっと国が大きなビジョンで取り組んでいただきたいと頼んでおきました。このあたりについては、教育委員会も努力してもらって、今日出ている意見が担保できるような形で検討を進めていただきたいと思います。ただ、時代の流れとして、世界各国このような状況ですし、日本を支えていく子どもたちを育てていくことは大切だと思いますので、町としても積極的に取り組んでいきたいと思えます。</p> <p>それでは、就学援助制度についてお願いします。</p>
尾崎補佐	就学援助制度について説明。
町長	<p>支給額については、国の基準額が上がったとのことですので、この通りにやればよいと思います。</p> <p>卒業アルバムの追加については、どう思われますか。</p>
市橋委員	卒業アルバムを買われる方に、実費をお支払いするということですね。要らないと言われる方にはないですね。
教総課長	そうです。
町長	実態として、要らないと言われる方はいらっしゃいますか。
岸田指導主事	あります。
教総課長	それはお金がかかるからか、そもそも要らないからか、どうですか。
岸田指導主事	両方です。
市橋委員	私の経験からですと、5年生から積み立てをして買うといったようにしていました。
町長	話はそれますが、クラブ活動費を一律助成している自治体もありましたが、私はいかがなものかと思えます。もし一律にするのであれば、そんなに高額にしなくても思えますし、各クラブによってかかる費用にも差があります。
市橋委員	ここでのクラブ活動は、部活動のことですか。
教総課長	そうです。
市橋委員	クラブに加入していない場合もありますか。
教総課長	基本的に最初は、どこかのクラブに入ります。
町長	クラブを促進しようという意味ではメリットがあるかもしれませんが、私なら実費で十分だと思います。

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
市橋委員	<p>どういう経緯で支給対象となっているのか分かりませんが、PTA 会費も実費でいいと思います。</p>
町長	<p>それぞれの町の思いの違いというところでしょうか。 さて、卒業アルバムはどうでしょうか。支援をした方がいいと思われる方は挙手をお願いします。 (挙手なし)</p>
青木委員	<p>私は必要ないと思います。</p>
町長	<p>分かりました。 次に支給額の見直しについてですが、先に申しましたように国の基準どおりでやりたいと思います。 最後に区域外就学ですが、これは倉吉市に要望していくということですね。</p>
教総課長	<p>そうですね。まずは倉吉市に話をしてみたいと思います。</p>
町長	<p>私からも市長さんにも話してみたいと思います。中部は均一的に取り扱って、同じような支援をするのが望ましいと思います。 それでは、次に意見交換として、家庭教育充実に向けた湯梨浜町教育の推進に向けた取り組みについて説明をお願いします。</p>
生人課長	<p>家庭教育充実に向けた湯梨浜町教育の推進に向けた取り組みについて説明。</p>
市橋委員	<p>これは本当に良いことだと思います。学校でも ICT に取り組んでいるように、例えばですが、子育ての機関からの情報を定期的にメール発信し、啓発するようなことも考えられます。</p>
町長	<p>関係機関との連携を協議するような場を設けることについて、指導主事はどう思われますか。</p>
岩本指導主事	<p>家庭教育はいろんなところで言われていますので、湯梨浜でも何かしなければならぬと思います。</p>
町長	<p>具体的な方法を考えていただき、教育委員会の方で報告してもらいましょう。 続いて、地区（進出）学習会の現状について説明をお願いします。</p>
生人課長	<p>地区（進出）学習会の現状について説明。</p>
町長	<p>これは、地区や学校に出向いてやった方がいいのではないかと、議会でも意見がありましたが、同和地区児童生徒指導費ということで挙げられているから同和地区の子がいないとおかしい、と結びつきやすいですが、私は必ずしもそのように考えなくてもいいと思います。例えば、人権教育指導費のように、予算の名前を変えれば全然構わないわけで、やっぱり地域の中でも人権教育を進めていくべきだという方がおられるのであれば、名前</p>

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	を変えてやっていけばよいと思います。
松田委員	私の子どもも学習会に参加させてもらいました。子どもからは、いい勉強になったし、なぜ学校でもしないのかとも言っていましたので、同和地区の方がおられなくても、様々な人権問題をテーマに続けてもらいたいなと思います。ただ、送迎に苦労しましたので、そこを何とかしていただけると助かります。
市橋委員	もうちょっと柔軟的に運営できないかと思います。アンケートの意見を読んでもみると、肯定的、否定的な回答がそれぞれありますが、やって良かったと言われる方もおられるわけですから、例えば、来年は見合わせるとか、止めてしまうのではなく、もう少し柔軟性を持った対応があってもいいのかなと思います。
藏本委員	以前の教育委員会でも話をさせていただきましたが、もう同和教育はいいのではないかと、といったことに繋がらないようにしていかなければならないと思います。保護者や運営側に負担があるようであれば、休止というのはあってもいいかと思いますが、いつでも開けるよう門戸を開いておくスタンスであってほしいと思います。
生人課長	中学校には、学校で行っている人権教育と整理しながら、本当に行政としてしなければならないのであれば検討しなければなりません、と投げかけています。そのやり方も、誰が主になってやってもらうかも詰めていきますが、これまでの事業目的の取り組みとして開催するのは難しいと考えています。今後、町として必要だと考えられれば、形を変えて進めていきたいと思いますが、まだ検証ができていません。
町長	本日は結論を出すことが目的ではないので、皆さんのご意見を参考に検討をお願いします。 それでは、泊分館のあり方について説明をお願いします。
中央公民館長	泊分館のあり方について説明。
町長	今、泊小学校を避難所として整備しようとしています。泊分館にも防災機能を持たすということですか。泊分館は避難所として指定されていますか。
生人課長	泊分館は緊急時の一時指定所となっており、今は洪水だけが対象になっています。
町長	はまなすはどうですか。
教育長	はまなすは指定ですね。
生人課長	つわぶきとはまなすと泊小学校は指定です。
町長	そうなると、余程のことがない限り、泊分館を使うということはないので、

令和元年第1回湯梨浜町総合教育会議 会議録

発言者	内 容
	本気になって災害対応の機能を持たせるまでは必要ないと思います。
生人課長	これについては、先日、防災担当から、一時避難所であっても新設にあわせて整備してほしいとの要望がありました。
町長	本当に必要であれば作ればいいでしょうが、今の条件をすべて当てはめるとなると、相当大きな施設になります。
藏本委員	はまなすの活用ですが、通常は健診くらいしかありませんので、もったいないなと思っているところです。泊地域の方が集う施設は必要だと思いますが、例えば、大きな集会や研修は、はまなすでやるようなことも考えてもらって調整してもらいたいと思います。
町長	それぞれの施設の役割も考えながら、検討してみましよう。 その他はありますか。
教総課長	ありません。
町長	本日いただいた意見は大切に、対応を図りながら進めていきたいと思 います。 以上で総合教育会議を終了します。ありがとうございました。
午後5時10分終了	